



やっぱり子どもをまんやかに

草津市教育委員会事務局

児童生徒支援課長 建林 伸彦

とつながるのではないのでしょうか。

私が小学校に通っていた頃と今の学校社会はあまり変わっていないように感じる場合があります。しかし、社会の情勢や学校を取り巻く環境は大きく変わってきました。一番変わったなあと感じるのは、社会の変化とともに人の価値観が多様化してきていることです。また、「VUCA の時代」という言葉をよく聞くようになりました。向かうべき方向が不透明で、将来の予測が困難な時代になってきています。例えば、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりやその対応について、10年前の段階で誰が予想していたでしょうか。

先行きが不透明な時代に、これから生きる子どもたちに私たち教職員がどのような力を身につけさせるべきなのかについては、いろいろな会議や研修会等を通して議論されています。学力や体力、その他大切にしたい力、必要な力をあげていくときりがありません。子どもにつけるべき力は様々ありますが、私は社会の一員として一步を踏み出したときに、自分を律し、自分で生きる力を身につけてほしいと強く願っています。

子どもが「じりつ（自立と自律）」し、幸せな生活を送ることができるようになるためのヒントが子どもの権利条約の中に隠されているのではないかと考えています。子どもの権利条約には、「差別の禁止」、「子どもの最善の利益」、「生命・生存・発達に対する権利」、「聴かれる権利」4つの原則があります。どれも大切ですが、最後の「聴かれる権利」、つまり、子どもの声を生かすことが子どもの人生を豊かにしていくこ

学校には決まりやルールがあり、その中で子どもは学校生活を送っています。もちろん決まりやルールは大切です。ただ、今までの決まりやルールはトラブルにならないようにおとなが決めてきたところがあります。これまでの決まりやルールには、こどもの考えや意見はあまり反映されていないことが多くあると思います。しかし、こどもの人権や権利がさらに大切にされる時代になってきたことに伴って、学校の中でこどもの意見が取り入れられるようになってきました。こどもたちが、校外学習のルールを決めたり、学校行事の企画や運営を担ったり、校則をこども目線で見直したりしているということをよく聞くようになりました。「こどもまんか」が意識され、こどもが主体的に活動できる学校になるように取り組んできた成果だと思います。

学校現場はよく大変だと言われます。私は「大変だ」と感じるときは、自分や学校が大きく変わろうとしている時で、自分も大きく変わる時、つまり成長している時だ。」と常々考えるようにしています。「変化すること」で、その対応に時間がかかり、考えなければならないことも増えます。しかし、これからもこどもたちのために、みなさんと力を合わせて「こどもまんか」の学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。



令和7年度 校内研究主題

学 校 名	研 究 主 題	教科等
志津小学校	自ら考え協働する子どもの育成 ～主体的な探求学習につながる体験活動をどう仕組んでいくか～	生活科 総合的な学習の時間
志津南小学校	こどもの思いや願いから学習をデザインする	全教科
草津小学校	「読み解く力」の視点を生かし、主体的に言葉による見方・考え方を働かせ、自分の思いを深める国語科授業の創造 ～40 分授業の中で実感する学ぶ喜び～	国語科
草津第二小学校	「かんじる ためす やってみる」 ～こどもの中の「つくりたい」を育て、生かす学習を目指して～	図画工作科
渋川小学校	学習課題に向き合い、対話を通して 自らの考えを表現できるこどもを目指して	国語科
矢倉小学校	話し合い活動の充実 「何のために？」を意識して	特別活動
老上小学校	地域とつながり、学びを発信する子どもの育成 ～ 子ども主体の授業づくりを通して ～	生活科 総合的な学習の時間
老上西小学校	自ら考え、自分のことばで伝える子どもの姿をめざして ～学びに向かう基礎力・基礎学力の向上・コミュニケーションスキルの向上～	全教科
玉川小学校	すきです玉川 わたしも参加 つくるよろこび ～地域への誇りや愛着を持ち、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる子どもの育成～	総合的な学習の時間 生活科
南笠東小学校	「おもしろいと思える（知的好奇心が高まる）」授業づくり ～ICTを活用した問題発見・解決学習を通して～	全教科
山田小学校	どの子にもやさしく「わかる」「できる」、確かな学力を育む授業づくり ～読む力を高めるための指導の工夫	全教科
笠縫小学校	「自ら学び伝え合う力を育てる授業づくり ～対話を通して考えを深めているこどもの姿を目指して～」	国語科
笠縫東小学校	子どもたちの自信や意欲を培う授業の創造 ～問題発見・解決学習を通して～	全教科
常盤小学校	学びを自覚し、自らの考えを表現し合う国語科の授業づくり ～カードを活用した学習活動の工夫を通して～	国語科
高穂中学校	令和の日本型学校教育の実現に向けた学校組織力の向上 ～学びあう教師集団の醸成と教師力の向上～	総合的な 学習の時間
草津中学校	自分の考えをもち、適切に表現できる生徒の育成	全教科
老上中学校	探究的学習により意見交流を重ねて考動・発信する生徒の育成—ESD を中心とした総合的な学習の時間と教科の学習との往還を強化した取組—	全教科
玉川中学校	「自ら課題を見つけ、協働の学びを推進し、解決をめざす生徒の育成 — ^{みらい} 未来—」	総合的な 学習の時間
新堂中学校	未来を創る言葉の力 ～ESDで育む発信力～	全教科
松原中学校	ESDを軸とした教科横断的な学習の推進による生徒の主体性の醸成	全教科 全領域

今年度の各小中学校の校内研究の研究主題を紹介します。どの小中学校でも、指導力の向上を目指して取り組まれています。ぜひ、研究内容や取り組みの情報交換に活用してください。

スキルアップ支援講座

●授業づくり・学級づくり支援

スキルアップ支援講座では、アドバイザーが学校を訪問し、対象の先生の授業参観および OJT リーダーの参観授業を通して、今年度は特に、以下の 3 点を重点的に支援しています。

①学習のゴールから考える授業づくり(逆向き設計)

こどもが主体的に学習に取り組むために、「やってみたい」「なんとかなりそうだな」と思える単元のゴール（パフォーマンス課題）の設定をしてそこから各時間の展開を考えると、1 時間の授業設計においても、まとめに書く文言をイメージした上で展開と課題を考えていくという授業づくりのプロセスについて実践を通して支援しています。

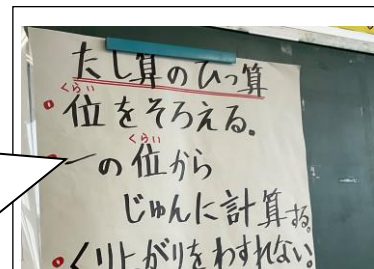


②多様な考えを出し合う場の設定の意味と内容

自分で考える時間、班で話し合う時間、全体で共有する時間という組み立ての授業がよく見られます。ただ、班などで話し合う活動では、意見の発表だけに終わったり先生が期待している答えを見つけたりする活動になりがちです。話し合う必要性、何を根拠に考えさせるのか、また話し合う値打ちのある課題などについて、具体的な例をもとに確認しています。

③効果的な時間の使い方のための展開の工夫

特に小学校では、40 分授業を見据えて 1 時間の学習のコンパクト化が求められています。そのために、どこで時間を節約し、どの活動に時間をたっぷりとするのかについて、実際の授業展開や先輩教員の授業に学びながら、共に考えています。



●ICT 活用支援

ICT 活用支援では、年間 6 回の授業参観・懇談を実施します。毎回、ICT の具体的な活用について情報提供を行った上で授業参観・懇談を行い、ICT の基本的なスキルが身に付けられるように支援を実施しています。

<ICT の基本機能を活かした日常づかいを目指して>

①教師用デジタル教科書の活用

教師用デジタル教科書には、文字や図表を拡大したり、動画・音声・アニメーションを使ったりする機能があります。これらを活用することで、授業での資料提示が簡単に、より分かりやすくなります。日常的にこれらの機能を使いこなせるよう、アドバイスしています。



教師用デジタル教科書の活用



②ロイロノートの活用

ロイロノートにはカード提出機能があり、これを使うことで、児童生徒全員の考えを一覧表示できます。（他者参照）デジタルならではの特長として、アナログでは難しかった他の生徒の意見を簡単に共有・参照できるのがポイントです。まずはこの機能を活用し、児童生徒同士が意見を交換しながら話し合いを深める（協働学習）ことを推進しています。ICT を使うことで、より活発な議論や意見共有を促すサポートをしています。



提出機能（他者参照）



協働学習

令和7年度草津市教職員夏期研修講座のご案内

令和7年度草津市教職員夏期研修講座

全14講座

No.	講座名	主な内容	講師	日時	場所	主な対象・備考
1	多様な教育的 ニーズ講座	「元不登校のぼくから伝えること」 不登校の背景には、私たちが見えていない”心の声”があるかもしれません。今回は、実際に不登校を経験された寺岡さんをお招きして、当時の思いや、きっかけとなった出来事、そして教職員にしてもらってうれしかったことなどを語っていただきます。現場の支援に正解はなくとも、経験者のリアルな声から学ぶことはきっとあるはずです。教職員一人ひとりに聞いていただきたい大切な時間です。	意識情報フィールド研究所 寺岡 佑記さん	7月23日 (水) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	・教育相談や学級担任など 不登校の子が考えていること、対応してほしかったことなど不登校経験者の声から学びたい方。 ◎生徒指導担当・教育相談担当の方は1・8・9・12のいずれかに御参加ください。
2	チーム学校体制の 充実講座	「ハラスメント防止研修 ～教職員が知っておきたい法的知識やハラスメント対応～」 「知らなかった。」では済まされないハラスメント対応。ハラスメントは誰にとっても無関係ではありません。草津市学校問題サポートチームでアドバイザーをいただいている加藤弁護士を講師に迎え、ハラスメントの法的基礎や実際の対応策について学びます。被害者にも加害者にもならないために、今こそ学びを深めておきたい内容です。明日の自分と仲間を守るために、この機会にぜひご参加ください。	上原綜合法律事務所 弁護士 草津市学校問題 サポートチーム アドバイザー 加藤 慶子さん	7月23日 (水) 13:30 ～ 15:30	教育研究所 研修室	・管理職などハラスメント予防担当者やどんなことがハラスメントに当たるか学びたい方。
3	人権教育講座 (人権・同和教育)	「さかな屋さんと自尊感情」 こどもたち一人ひとりが「自分は大切な存在だ」と感じられる環境をつくるためには、私たち教職員も人権について問い直し、学び続けることが大切です。今回の研修では、こどもの自尊感情の育成や、教職員自身の自己肯定感の視点を交えながら、部落問題や人権課題の本質について講話をいただきます。日々の教育実践を見つめ直す貴重な機会となります。こどもと向き合うすべての教職員に、ぜひ聞いていただきたい内容です。	元野洲市教育長 西村 健さん	7月24日 (木) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	・すべての教職員。
4	就学前教育の 充実講座 (幼保小接続) (他機関連携) 【幼児課】	「学びをつなぐ ～架け橋期の教育の実現に向けて～」 幼保小それぞれの立場で日々こどもと向き合う私たちが、共通の視点を持ち、理解を深め合うことが求められています。こどもの日々の姿から出発し、育ちの連続性をどう支えるかを共に考えていきます。こどもにとって大切な「学び」や「かわり」とは何かを見つめ直しながら、評価や課題の捉え方、そしてこどもの姿をどう変えていくのかを、現場の実践や対話を通して探ります。めざすこどもの姿を共有し、よりよい接続のあり方を見つけるために、一緒に学び合いましょう。	滋賀文教短期大学 子ども学科 伊藤 孝子さん	7月24日 (木) 15:00 ～ 16:50	教育研究所 研修室	・保育所やこども園、幼保小連携担当の方。 ※「架け橋期カリキュラム」共通シートを1人1枚ご持参ください。
5	スクールESD 講座	「総合的な学習の時間の学習展開について」 「持続可能な社会の創り手の育成」「探究的な学び」など、文部科学省が掲げる目標のもと、総合的な学習の時間はますます重要な役割を担っています。けれど、「どう取り組めばよいのか分からない」「ほかの先生の実践が知りたい」という声もまだまだ聞かれます。今回の研修では、総合的な学習をめぐる基本的な考え方を再認識しつつ、授業づくりやテーマ設定、地域連携などの視点からヒントを探ります。一人ひとりの実践が、こどもたちの未来を拓く第一歩に。みなさんのご参加をお待ちしています。	滋賀県教育委員会事務局 幼小中教育課 森井 貴士さん	7月25日 (金) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・ESDマネジメントリーダーや地域連携担当者、研究主任やESD推進に興味のある方。
6	特別支援教育 講座	「全ては幸せを感じるために ～やまなみ物語～」 特別支援教育の実践をより豊かにするために、学校外からの視点から学んでみませんか？今年は、障害者多機能型事業所「やまなみ工房」の山下さんを講師に迎え、施設での様子や利用者との関りを通して見てくる”特別支援のあり方”についてお話ししていただきます。互いの違いを知り、それぞれの価値観を尊重する姿勢が、支援の質を高める第一歩です。現場の声に耳を傾け、自校での実践に生かすヒントを得るこの機会を、どうぞお見逃しなく。	やまなみ工房 山下 亮和さん	7月28日 (月) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	・特別支援学級や特別支援教育に関わる方。 ※特別支援教育部会の方は各校1名以上御参加ください。
7	ICT教育講座	「新校務用端末に関わる研修会」 校務用パソコンが新しく切り替わることに伴い、基本操作に関する講習会を実施いたします。新端末の操作方法や主な機能の利用手順等について説明があります。なお、参加された先生方には各校での伝達・共有もお願いすることになります。円滑な切り替えのため、ぜひ出席いただきますようお願いいたします。	株式会社 内田洋行	7月28日 (月) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・各校から2名の参加をお願いします。 ※研修に必要な端末は会場でご用意します。(校務用パソコンなどの持ち物は不要です。) ※詳細の問合は学校政策推進課へお願いします。
8	生徒指導・教育 相談講座	「発達障害と見分けが付きにくい症状や学校連携について」 発達障害かどうか判断が難しいこどもに出会い、対応に悩んだ経験はありませんか？発達障害と見分けが付きにくい症状や、精神的な不調等との違いについて、具体的な事例を交えてお話ししていただきます。こども一人ひとりに合った支援を見つけるヒントがきっと得られるはずです。日々の実践に生かせる学びとして、どうぞご参加ください。	滋賀県SSWスーパーバイザー 精神保健福祉士 宮脇 千恵さん	7月29日 (火) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・校内や学級に支援が必要な子(保護者)がいる教職員。 ◎生徒指導担当・教育相談担当の方は1・8・9・12のいずれかに御参加ください。
9	多様な教育的 ニーズ講座 (他機関連携) 【こども家庭若者課 共催】	「こどもの貧困とヤングケアラー」 「もしもがこの子・・・？」と感じたことはありませんか？こどもの貧困とヤングケアラーの問題は、見えにくいからこそ、教職員の気づきと理解がとても重要です。こどもたちの置かれた現実や、学校と地域ができる支援のあり方について教えていただきます。日々の関わりの中で見過ごしがちなサインに気づき、適切な支援へとつながるために、ぜひこの機会にみんなで学んでみませんか？	こどもソーシャルワーク センター 鳴橋 杏里さん	7月31日 (木) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	・教育相談や養護教諭など、こどものケアを主に担う方、学級に気になる子がいる教職員。 ◎生徒指導担当・教育相談担当の方は1・8・9・12のいずれかに御参加ください。
10	こどもまんなかの 学校づくり講座	「ルールから始まる、生徒主体の学校づくり」ー ルールメイキングを通じて育む自治と対話の力 こどもたちが自分たちでルールを考え、話し合い、つくりあげていくそんな「ルールメイキング」を通して、学校自治や対話の力を育む実践が目玉されています。今回は、ルールメイキング教員アンバサダーに就任された水野先生をお招きし、学校現場での取り組みやこどもたちの変化、対話を生かした関わりについて具体的にお話ししていただきます。教室や学級経営に取り入れられる内容が満載です。こども主体の学びと自治に興味のある方、ぜひこの機会にご参加ください。	立命館守山中学校・ 高等学校 水野 翔太さん	7月31日 (木) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・特別活動(児童会・生徒会)、生徒指導など、こどもの意見を尊重した校則やルール作りに興味のある方。

No.	講 座 名	主な内容	講師	日時	場所	主な対象・備考
11	働き方改革の推進講座	「午前5時間制40分授業とチーム担任制 ～先進校の実践に学ぶ～」 「それなら、うちの学校でもできるかも。」と思えるヒントがきっと見つかります。先進的に取り組んでいる先生から、具体的な工夫や成果、苦労した点などをリアルな声でお話していただきます。日々の業務を見直し、無理なくできる改善の一步と一緒に考えてみませんか？よりよい職場づくりのために、ぜひ一緒に考えていきましょう。	愛荘町立泰荘西小学校 国寄 智将さん	8月4日 (月) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	・管理職や教務主任、働き方改革推進委員、この講座に関心のある方。
12	ウェルビーイングな学校づくり講座	「“伝える”から“伝わる”へ ～心をつなぐ言葉の技術～」 言葉に思いをのせて届けよう—そんな技術を、プロから学んでみませんか？アナウンサーとして活躍された牧田さんから、日々のコミュニケーションに役立つスキルを実践的に学びます。こどもや保護者との関係づくりに悩むことはありませんか？伝え方ひとつで、相手の受け取り方が大きく変わります。この機会に、心を動かす“伝わる力”をみんなで磨いてみましょう。	フリーアナウンサー 牧田 もりかつさん	8月5日 (火) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	・中堅（おおむね10～20年程度）の教職員＊3年間開催予定なので、3年間で一度は受講してください。 ◎生徒指導担当・教育相談担当の方は1・8・9・12のいずれかに御参加ください。
13	草津教員塾 学力向上講座 (体育科)	「運動好きのこどもを育てる体育学習」 「表現運動、どう指導すればいいか悩んでいる・・・。」そんな声に応える研修にしようと、舞踏教育学を専門とされている安江先生をお迎えし、体育の授業に活かせる“表現運動”を、実技を交えて楽しく学びます。実際の授業を想定した内容で、こどもたちが自由に身体で表現する力を引き出すヒントが満載です。動きながら学ぶことで、言葉だけでは伝わらない感覚がきっと得られるはずですよ。ぜひ、一緒に体験して学びましょう。	ノートルダム清心女子大学 安江 美保さん	8月5日 (火) 13:30 ～ 16:00	草津市立南 笠東小学校	・小学校の担任または体育専科教員の方、幼保の教職員の方で小学校体育に興味のある方。 ※持ち物・服装については別途御案内します。
14	研究発表大会① 第1部 奨励論文・研究 論文発表会	①とびだせ！おひさま探検隊 ～体験から広がるわくわくの世界～ ②「共同実施の未来を楽しく」有志による取り組みと効果について ③主体的に学級をよりよくしようとする児童の育成を目指して ～レーダーチャートの活用を通して～ ④研究報告（令和6年度教育研究所研究員より） 不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の在り方に関する研究 ～登校支援室の運用と教職員の関わりを通して～	①草津中央おひさまこども園 わくわくする保育を考える会 高谷 武志さん ②草津市立小中学校事務共同実施推進協議会 未来部会 代表 藤川 亮さん ③志津南小学校 水野 颯人さん ④笠縫小学校 玉木 裕さん	7月30日 (水) 13:00 ～ 14:30	教育研究所 研修室	令和7年度研究奨励事業応募者の方は御参加ください。（研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねています。）
	研究発表大会② 第2部 教育講演会 データサイエンス 教育	日程・講演内容 14:45～14:50 開会行事 14:50～16:40 講演 「教育現場における科学的アプローチ」 <講演概要> 学校現場では、こどもや教職員の心身の健康、快適な学習環境、個別最適な支援などが求められています。そうした課題に直感や経験だけでなく、科学的な視点を取り入れてみませんか？感性科学、整理データ、AI・データサイエンスなどの知見を通じて、こどもと教職員のウェルビーイングや、快適な学びの環境づくりを支える方法を一緒に考えてみましょう。	講師 滋賀大学教育学部 教授 大平 雅子さん	7月30日 (水) 14:45 ～ 16:45	教育研究所 研修室	・ ※第1部と入れ替え制で行います。駐車場が混雑しますので、安全に気をつけて研究所へお入りください。

★連絡・注意事項

申込書の提出期限：令和7年7月10日（木）

○会場の定員には限りがありますので、申し込みが多数あった講座については、サテライトによる受講とさせていただきます場合がございます。

○自動車で来られる際は、教育研究所の駐車場をご利用ください。

○駐車台数が限られています。必ず【乗り合わせ】でお越しください。（各校3台まで）

○駐車場が混み合いますので、時間に余裕を持ってお越しください。

○駐車場では、誘導者の指示に従ってください。

○欠席、遅刻、早退については、所属長を通じて欠席届、遅刻届、早退届を研究所へ提出してください。

○今年度もデータ資料としています。

<小中学校>Teams→【教材共有ポータルサイト】→08_教育研究所→ファイル→R7夏期研修講座内格納の資料

<こども園・保育所>市庁舎ネットワーク→文書管理→電子キャビネット→草津市→教育研究所→夏期研修講座→R7夏期研修資料内格納の資料

からダウンロードし、指導者用コンピュータ（お持ちでなければ校務用コンピュータ）を御持参ください。PCがない方についての資料は当所で用意いたします。

NITS のオンライン講座のご紹介



新しいコンテンツが追加されています。こちらもぜひご活用ください

基礎的研修シリーズ

No1	小学校教師の仕事を体験しよう！① ～新人教師の一日に密着！～	No18	指導要録・通知表の書き方
No2	小学校教師の仕事を体験しよう！② ～教師と子供たちの一年間～	No19	保護者と信頼関係を築く① ～保護者会・個人面談～
No3	まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～	No20	保護者と信頼関係を築く② ～連絡・相談～
No4	スクール・コンプライアンス	No21	保護者と信頼関係を築く③ ～保護者からの訴えへの対応～
No5	学校の組織、チーム学校	No22	いじめ問題
No6	学級開き	No23	不登校
No7	学級目標・学級生活づくり	No24	ICT 活用（GIGA スクール構想）
No8	安心して学べる環境づくり ～教室環境～	No25	特別支援教育
No9	学級生活を楽しく豊かに ～日直・係の仕事～	No26	特別の教科 道徳
No10	望ましい食習慣を育む ～給食指導～	No27	学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～
No11	一日の始めと終わりを大切に ～朝の会・帰りの会～	No28	新たな教師の学び
No12	教材研究の方法	No29	生まれ変わっても教師になりたい！ ～現役教師座談会～
No13	単元指導計画の立て方	No30	会社員から教師になって ～若手教師インタビュー～
No14	学習指導案の書き方		
No15	子供の心をつかむ ～授業の導入～		
No16	分かる授業をつくる ～効果的な発問・板書～		
No17	学力向上の取組		

校内研修シリーズ

<新着動画（令和6年度制作分）>

No157	道徳教育マネジメント ―カリキュラム・マネジメントに基づく道徳教育―	No167	災害から考えるリスクマネジメント ―ハザードマップの読図に基づく学校防災―
No158	子どもの事実から子どもを主語に「学校づくり」を問い直しませんか	No168	学校の教育目標を具現化するカリキュラム・マネジメント
No159	発達の段階に応じた道徳科の指導	No169	いじめのとらえ方と予防Ⅱ（演習編）
No160	コーチングのスキルと活用Ⅰ	No170	各学校におけるカリキュラム・マネジメントの実施にかかるミドルリーダーの役割
No161	コーチングのスキルと活用Ⅱ	No171	合理的配慮の提供と特別支援教育に関する校内支援体制の充実について
No162	コーチングのスキルと活用Ⅲ ～不登校解決のためのリソースを探す～	No172	自閉症スペクトラム当事者からみた特別支援教育
No163	コーチングのスキルと活用Ⅳ ～円滑な保護者対応に生かす～	No173	病弱教育における ICT 活用
No164	学校における感染症対策の在り方	No174	いじめ防止対策推進法等に基づきいじめ問題への対応について
No165	これからの学校におけるミドルリーダーシップ	No175	学校における ICT を活用した学習場面
No166	事件・事故発生時の学校対応 ～学校事故対応に関する指針をもとに～	No176	外国人児童生徒等に対する日本語指導

研究発表大会

日時：令和7年7月30日（水）

場所：草津市立教育研究所 研修室



第1部 奨励論文・研究論文発表会 13:00～14:30

●令和6年度草津市教育研究奨励事業表彰者による発表

- ① とびだせ！おひさま探検隊
～6～ ～体験から広がるわくわくの世界～
草津中央おひさまこども園 わくわくする保育を考える会 代表 高谷 武志 さん
- ② 「共同実施の未来を楽しく」有志による取り組みと効果について
草津市立小中学校事務共同実施推進協議会 未来部会 代表 藤川 亮 さん
- ③ 主体的に学級をよりよくしようとする児童の育成を目指して
～レーダーチャートの活用を通して～
志津南小学校 水野 颯人 さん

●令和6年度教育研究所研究員による研究報告

不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の在り方に関する研究
～登校支援室の運用と教職員の関わりを通して～
笠縫小学校 教諭 玉木 裕 さん

※令和7年度研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねています。

今年度の研究奨励事業に御応募いただいている方は、ぜひ御参加ください。

第2部 教育講演会

14:45～16:45

「教育現場における科学的アプローチ」

演題

開会行事	14:45～14:50
講演	14:50～16:40
閉会行事	16:40～16:45

講師 滋賀大学教育学部 教授 大平 雅子 さん

【講演の概要】

学校現場では、こどもや教職員の心身の健康、快適な学習環境、個別最適な支援などが求められています。

感性科学、整理データ、AI・データサイエンスなどの知見を通じて、こどもと教職員のウェルビーイングや、快適な学びの環境づくりを支える方法を一緒に考えてみましょう。

主催 草津市教育委員会
草津市立教育研究所



やまびこだより



☎ 077-563-1270 (月～金)

077-514-7350 (土)

～「やまびこ教室」5月、6月の活動から～

やまびこ教室は上笠教室と青地教室を併せて、市内の2つの教室で活動を行っています。普段は教室ごとに活動をしていますので、その様子をお伝えします。

インターンシップの学生さんと一緒に活動しています！

今年度、初めての試みとして、京都の私立大学から二人の学生さんを招いて交流を深めています。

4月30日から7月2日までの毎週水曜日
合計10回の参加です。

二人はやまびこ教室の指導員とともに、こどもたちの指導に汗を流してくれています。



「餃子の皮のピザづくり」

日々の活動から



みんなで散策

青地教室の近くにあるロクハ公園をみんなで散歩しました。野の花や新緑の美しさに目をうばわれました。

やまびこクッキング

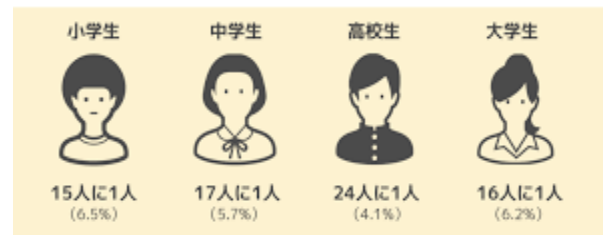
今回のメニューは「餃子の皮」をつかったピザです。ソーセージにチーズ、そして青地でとれた新玉ねぎも材料にして、とってもおいしい簡単ピザができました。



ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、大人が担うべきケア責任を受け、本当なら享受できるはずの「こどもとしての時間」と引き換えに家事や家族の世話を行っているこども・若者をいいます。

R2年の調査によると家族の世話をしているこどもの割合は左記の通りで、クラスの1～2人がヤングケアラーになります。



埼玉県の実態調査によると、ヤングケアラーが担うケアの中で多いものは ①家事（食事の準備、後片付け、洗濯、掃除など）58.0% ②感情面のケア（そばにいる、元気づける、話しかける、見守る、外に連れ出す）41.0% ③家庭管理（買い物、家の修理、重いものを運ぶ）32.4%（複数回答可）でした。

周囲にヤングケアラーへの認知を広め、早めに気付くことがとても大切です。ただ、家族を助けること自体が悪く捉えられないように注意が必要です。あくまで、その負担が過度になって勉強に支障をきたしたり、こもらしい生活が送れなくなったり、1人で孤独を抱えていたりすることが問題です。

この課題は、進路選択の時期など「自分の道」を歩き出そうとする時に、こどもたちに最も大きな影響をもたらします。自分を犠牲にするのは当然だと考える。自分はあきらめるしかないと思っている。将来の夢を追いかけるどころか夢を見つけないと願うことすらできなくなっている…

ヤングケアラーの当事者からは、「実際に助けてほしい」に加えて「先生に悩みを相談できる雰囲気を作してほしい」「不安や愚痴を聞いてもらえて少し落ち着いた」等の声があがっています。

学校で出来ることは限られているかもしれませんが。まずはその「辛さ」に気づくこと。そして、「相談してもいい」「話すだけでも楽になる」「自分の為に親身になってくれる人がいる」と経験させてあげること。それらを通して、将来に彼らが「助けてもらえるかもしれない」と希望を持って大人を頼れる若者に育つことを目指し、私たちSSWも先生方と協力しながらこどもたちと関わり、その支援を模索していきたいと思ひます。

大人が果たすべき役割を彼らだけが背負うことなく、自分の人生を選択して生きてもらうために、学校、関係機関を含む社会での仕組みづくりと連携が求められています。

シリーズ

司書さんおすすめの絵本

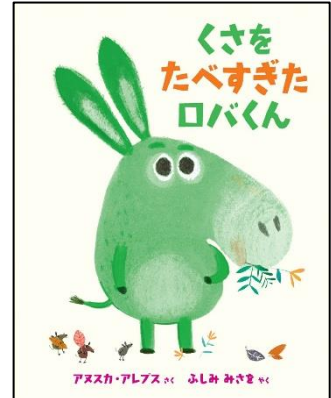


「くさをたべすぎたロバくん」 アヌスカ・アレプス／さく ふしみ みさを／やく (BL 出版)

ロバくんは、くさが大好き。朝から晩まで、くさばかり食べています。「ひとくちでいいから、ほかのものも食べてみたら？」ってママに言われるけど、ロバくんは、くささえあれば、あとはなんにもいりません。ところが、ロバくんの体に、ある異変が起こります。

ロバくんが、くさ以外に食べたいと思う食べものは出て来るのでしょうか？

くさ、くさ、くささ——ん♪と、ロバくんが歌う場面では、子どもたちと一緒に歌いながら読んでみてください。



「なんでもだっこ!」 スコット・キャンベル／さく せな あいこ /やく (評論社)

主人公は、だっこロボの男の子です。大きなものも、かたいものも、とげとげしたものも、なんでも工夫をしてだっこができる無敵のだっこロボ。沢山だっこをして、へとへとになると、だっこロボは大好きなある場所へ向かいます。

色んなものをギュッとだっこしている男の子を見ていると優しい気持ちになって、おもわず笑顔になります。

一緒に絵本を読んでいる子どもをギュッとだっこしながら読んであげてください。



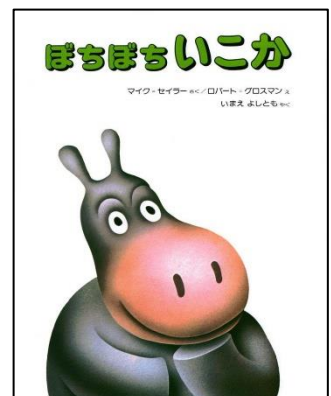
「ぼちぼちいこか」 マイク=セイラー／さく ロバート=グロスマン／え

いまえ よしとも／やく (偕成社)

かばくんは、消防士、船乗り、パイロットと、色んな仕事に挑戦するけど、何をやっても上手くいきません。

「どないしたら ええのんやろ。」と落ち込むかと思いきや予想外の行動に出ます。かばくんは、次にどんな仕事に挑戦するのでしょうか？

かばくんの重さで折れるはしご、沈む舟、壊れる機体など、大失敗しても諦めずに自分のペースで頑張るかばくん。ひと休みして次のやってみたい事をじっくり考える姿をみていると元気が出ます。



読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力を得て作成しています。

